



# 上末っ子

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>

令和4年1月7日

1月号

横浜市立上末吉小学校



学校ホームページ用QRコードです。  
「学校の様子」から各学年の様子を  
ご覧いただけます。

## 「ウイルス感染ではなく、笑顔感染！」

副校長 小川 康介

新年、あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様には穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

令和4年がスタートしました。今年は、「寅（とら）年」です。虎は、子をととても大切に育てるところから、大切にしてお手放すことができない貴重なものを「虎の子」といいます。地域、保護者の方々、そして上末吉小学校にとっての「虎の子」は、「上末っ子」である子どもたち。子どもたちの学びと成長を第一に考えた教育活動をより充実したものにしていきたいと思っております。

昨年も一昨年と同様、工夫を重ねながら教育活動を続けてきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に追われた一年となりました。現在も「オミクロン変異ウイルス」の感染拡大が恐れられている中で、例え明るいニュースがあっても、以前のように心からみんなが「笑顔」になれる世の中には、まだまだなっていないのではないかと思います。

しかし、私自身この一年を振り返った時に、上末吉小学校の子どもたちや保護者の方々、地域の方々、教職員から「笑顔」にしてもらったことが数多くありました。それは、一生懸命に活動している子どもたちの姿や上末吉小学校を支えてくださる皆様の優しさに触れた時です。「笑顔」は、心を温かくし、周りを和やかにしてくれます。

「苦しい時ほど笑え」という言葉もあります。おまじないみたいなものかと思いましたが、科学的な根拠があるようです。ある本でこのような実験が紹介されていました。箸を横にして歯で噛み、「笑顔」に近い表情を作る。すると脳内でドーパミン系の神経活動が変化するそうです。ドーパミンは皆様もご存知のように「やる気」や「幸福感」をもたらす神経伝達物質です。人は楽しいから笑いますが、「笑顔」を作るから楽しくなるという逆の因果関係もあるようです。同じように箸を噛みながら漫画を読むと、よりおもしろく感じるという実験結果もあるようです。

その本によると、「笑顔」は周りの人に「感染」するそうです。そう考えると子どもたちだけでなく、教職員、保護者の方々、そして地域の方々が、一人ひとり笑顔でいることで、みんなに「笑顔」が「感染」していくこととなります。

毎日、苦しいことや嫌なことがあるかもしれませんが、「笑顔感染」が上末吉小学校を中心に広がっていき、みんなが笑顔でいられる楽しく、幸せな一年間になればと思います。



### 【上末吉小学校創立70周年記念式典】

1月29日（土）に、上末吉小学校創立70周年記念式典を執り行います。子どもたちも、4月から始まった創立70周年記念事業の活動を通して、70周年を祝う気持ちと、学校と地域への愛着心が高まっているようです。当日が楽しみです。



Yokohama City  
Kamisueyoshi Elementary School  
70th Anniversary